

表題	イチゴの省力ベンチ苗の株冷(低温暗黒)処理	機関	農業研究センター 農産園芸研究所
<p>概要： イチゴのベンチ育苗における短期株冷は、収量を確保するためには処理日数 5 日間の 9 月 10 日定植が最も適している。規模によって作期を広げる場合は 9 月 5 日定植は 7 日間、9 月 13 日定植では 5 日間の株冷処理が適している。</p>			

研究のねらい

イチゴの育苗、栽培管理の省力化を図ることを目的として、省力地床育苗法(ベンチ育苗)を開発したが、短期の低温暗黒処理(短期株冷)が花芽分化や収量におよぼす影響については不明である。

このため、ベンチ育苗に対する短期株冷が花芽分化や収量に及ぼす影響について検討し、ベンチ育苗の安定化を図る。

研究の成果

1. 頂花房の出蕾、開花、収穫開始日は、処理日数が 5 日から 7 日では定植期が早い方が早く、開花株率は、(1)9 月 5 日定植では 7 日処理が高く、(2)9 月 10 日および 13 日定植では処理日数にかかわらず高い。
2. 第 1 次腋花房の出蕾、開花は、9 月 10 日定植(7 日処理)が早い。
3. 総収量、商品果収量は、9 月 10 日定植(7 日処理)が多い。商品果の年内収量は、9 月 10 日定植(5 日処理)が最も多い。
4. 1 果重は、9 月 10 日定植(5 日処理)がやや大きい。

以上のことから、イチゴのベンチ育苗における短期株冷処理は、9 月 10 日定植が適し、年内収量を確保するためには 5 日処理が望ましい。

なお、作付面積が大きい場合は 9 月 5 日定植で 7 日間、9 月 13 日定植で 5 日間処理を行う。

普及上の留意点

処理苗の定植適期は 9 月 10 日頃と考えられるため、適期に定植が行えるように天候に注意しながら圃場の準備を行う。

第1表 頂花房及び第1次腋花房の出蕾、開花(H10) 1区20株当り

試験区	処理	頂花房			第一次腋花房	
		出蕾日	開花日	開花株率	出蕾日	開花日
(月/日)	定植日 育苗 日数	(月/日)	(月/日)	(%)	(月/日)	(月/日)
9/5	ハンチ 12日	10/27.7	11/ 7.1	72.5	12/26.1	1/13.4
	" 10日	10/15.9	10/24.7	85.0	12/22.6	1/11.8
	" 7日	10/ 7.3	10/15.4	100.0	12/20.3	1/12.0
	ホット 12日	10/11.3	10/18.1	82.1	12/14.0	1/ 2.0
9/10	ハンチ 10日	10/13.4	10/22.5	97.4	12/12.1	1/ 1.1
	" 7日	10/13.4	10/22.7	95.0	12/11.4	12/28.7
	" 5日	10/14.4	10/23.0	97.4	12/13.1	1/ 1.1
	ホット 7日	10/12.4	10/21.3	89.7	12/15.8	1/ 3.8
9/13	ハンチ 7日	10/15.2	10/24.2	97.5	12/12.1	12/30.9
	" 5日	10/16.2	10/25.1	97.5	12/13.5	1/ 2.0
	" 3日	10/18.2	10/27.4	97.5	12/15.9	1/ 2.9
	ホット 7日	10/11.2	10/18.7	97.5	12/16.2	1/ 3.9

第2表 10a換算収量(H10) 1区20株あたり

試験区	処理	総収量	商品果収量		商品果 1果重
			年内	全体	
(月/日)	定植日 育苗 日数	(kg)	(kg)	(kg)	(g)
9/5	ハンチ 12日	3928	631	3606	12.7
	" 10日	4008	773	3701	12.9
	" 7日	4026	874	3664	12.5
	ホット 12日	4330	771	3950	12.7
9/10	ハンチ 10日	4167	801	3885	13.1
	" 7日	4496	800	4120	12.8
	" 5日	4414	908	4052	13.4
	ホット 7日	4905	921	4343	12.2
9/13	ハンチ 7日	4011	758	3678	12.6
	" 5日	4143	786	3784	12.9
	" 3日	3704	862	3308	12.3
	ホット 7日	4549	1005	3996	12.4

